

会 議 録 (概要)

会議の名称	令和5年度 第1回佐渡市デジタル化推進検討懇談会
開催日時	令和5年7月26日(水) 9:30~11:30
場所	新穂行政サービスセンター 2階第2・3学習室
会議内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 座長あいさつ 3 議事 <ol style="list-style-type: none"> 1) 「佐渡市デジタル活用構想」の策定について 2) 令和5年度の取組(施策)内容について 3) その他 <ol style="list-style-type: none"> ① 懇談会の取組テーマについて ② デジタル活用構想の市民への周知について ③ 次回日程について 4 副座長あいさつ 5 閉会
会議の公開・非公開 (非公開とした場合は、その理由)	公開
出席者	«デジタル化推進検討懇談委員» (9名) «市役所» (6名) ・佐渡市総務部総務課デジタル政策主幹 中川 裕 総務課デジタル政策室長 椎 俊介 総務課デジタル政策室専門員 川上 大吾 総務課デジタル政策室デジタル推進係調査員 桃原 里沙 総務課デジタル政策室デジタル推進係主事 長谷川 博也
会議資料	別紙のとおり
傍聴人の数	なし

会議の概要（発言の要旨）

発言者	議題・発言・結果等
座長	<p>1 開会</p> <p>2 座長あいさつ</p> <p>昨年度は全5回の懇談会においてデジタル活用構想を練るという作業をした。皆さまよりいただいたご意見がよい形で反映されているとよいが、本日はその報告もあると思う。</p> <p>活発な議論をいただいたことで充実した内容になっているものと思う。</p> <p>これからデジタル技術の活用計画を作るというフェーズに入っていくが、デジタル政策という中でどのような活用をしていくのかということとあわせ、政策を推し進めるための体制づくりや、そういったものを考えていくためにどのようにして市民を巻き込むのかということも考えなければならない。</p> <p>市民が暮らしやすくなるためのデジタル政策に繋げるためにはどうしたらよいかというところで、構想の市民への周知や市民参画という点で悩ましい部分があるので、皆さまからご意見をいただきながらよりよい形で佐渡市のデジタル政策が展開していくような基盤づくりに繋げる議論ができればと思う。</p> <p>最近、デジタル化が進めば進むほど忙しくなるような気がしていて、勤務時間も長くなるし、プライベートと仕事の境もなくなるということで、デジタルをうまく活用することは難しいと感じているが、皆さまの忌憚のない正直なご意見をぶつけていただけたらと思う。</p> <p>よろしく願います。</p>
椎室長 座長	<p>3 議事</p> <p>1) 「佐渡市デジタル活用構想」の策定について (アジェンダP.4~17について説明)</p> <p>パブリックコメントについても面白い意見があるように思う。</p> <p>当初の「デジタル化構想」という名称が「デジタル活用構想」に変わったということは大きな意味があるのではないかと思う。</p>
椎室長 座長 A委員	<p>2) 令和5年度の取組（施策）内容について</p> <p>① 庁内情報システムの刷新 (アジェンダP.18~20について説明)</p> <p>インターネット環境については衝撃的である。</p> <p>グループウェアは、資産として取得して20年ということか、SaaSのサービスを利用していなかったために新しい機能が提供されていないということか。</p>
中川主幹 A委員	<p>取得して20年である。</p> <p>今後はSaaSのようなサービスを利用して新しく更新されるような形にした方が職員のリテラシーも向上するのではないかと思う。</p>
副座長	<p>企業を誘致している立場からすると、市内のさまざまなITベンダーさんを利用していただきたいと思うが、例え大手であろうと多少利便性が損なわれようと、ランサムウェア対策を徹底していただくことだけは譲ってほしくないと思っている。</p> <p>無害化の仕組みもどんどんよくなっているが、（行政の）外部と同じ利用環境で使用できることを第一目標とするのではなく、確実なセキュリティ対策を第一目標とするよう優先順位だけは気を付けていただきたいと思う。</p>
座長 B委員	<p>他にご意見等あるか。</p> <p>グループウェアは年間どのくらいの費用が発生しているのか。</p>

中川主幹	ソフトウェアは保守費用を支払っているのみである。 ライセンスのような形のものは20年前に買ったものを都度更新や保守という形でメンテナンス費用を支払っている。
B委員 川上専門員 B委員	メンテナンス費用は高額ではないのか。 高額ではなく、逆に非常に安価である。 できれば市内に新しく来ていただいたIT企業の方々にパーツパーツの構築だけでもしていただけたらと思う。
中川主幹	新たに構築するとなると非常にコストがかかってしまうので、こういった仕組みは全国のさまざまな自治体が利用しているので、それをパッケージという形で購入した方が安価ではある。
B委員	先ほどの副座長のお話にもあったが、穴が見つかる并使用している自治体すべてが叩かれることになる。 確かに信頼性もあってよいが、何かあった時の脆弱性には注意が必要である。
中川主幹	職員の意識を変えたいという考えもあって、現状のインターネットに簡単に接続できない環境が、物事をちゃんと調べなかつたり世の中の動向をキャッチできなかつたりということにも繋がっていると思う。 普段からインターネットに簡単に接続できる環境の構築が必要と考え、この部分を進めようとしているところである。
C委員	グループウェアの更新ということだが、今後、オンプレミスで考えていくのか、それともクラウドに移行するのか。 接続環境のアップグレードやセキュリティが重要になってくると思うが、今のところどちら側へ向かおうとしているのか。
川上専門員	オンプレミスとクラウド利用の両方を検討していたが、国や他の自治体との接続の点や経費的などところも含め、今回についてはオンプレミスという判断をしている。
C委員	そうするとやはりセキュリティ対策が必要になってくるし、恐らくサーバー自体を変えていかなければならないと思う。
副座長	オンプレミスを選択するという判断基準で、どの程度客観的な専門家の方が入られているのかということをお聞きしたい。 オンプレミスの業者さんとクラウドの業者さん、それぞれのベンダーさんがプレゼンされた時に、「今回についてはオンプレミス」という理由を判断する時に専門家の意見というものがあると思うが、今回の意思決定の過程の中にどのような専門家の方がどのくらいいらしかったのかをお聞きしたい。
川上専門員	今年度、グループウェアの更新も含めてコンサルタントからの意見を頂くような契約をしており、その中での判断である。 また、先ほどの説明のとおり、国や他の自治体との接続という点で、ネットワークの三層分離というしがらみの中で構築しかつコストをトータルで判断し、今回はオンプレミスとしたものである。
副座長 川上専門員	要するに、コンサルタントの方が「そちらの方がよい」と言われたということか。 そのとおりである。 特にセキュリティ面を考慮し経費も踏まえると、「現状ではオンプレミスで」と判断したということである。
副座長	我々の業界からするとランサムウェア対策であれば基本的にはクラウドであるし、クラウドの中で原則としてセキュリティ対策を作っていくという方向に突き進んでいるが、新潟県はどうか。
D委員	今ほど川上専門員のおっしゃったとおり、いちばんのネックはLGWANと呼ばれる普通のインターネット側に出ていないところで、新潟県庁も同様にグループウェアの個別だけでなく、そもそもインターネット側にクラウドのSaaSのサービスが多数あり、安価なものもあるので、「活用しようじゃないか」と今まさに検討中である。

<p>副座長</p>	<p>そうするとやはりセキュリティがネックとなり、「専門家のどのような意見を聞いているのか」という問いに関しては、新潟県庁では個別にコンサルタントと契約はしていないが、セキュリティの会社に意見を聞き回って比較検討し、費用対効果も踏まえて現在協議しているところである。</p> <p>新潟県も情報収集を進めているとのことであるが、本当に根本的なお話だと思っている。</p> <p>これから佐渡市の10年～20年先のシステムになる。</p> <p>その時に、コンサルタントの方1名の意見で決めるというのはいかがかという思いである。</p> <p>もちろん、その方がセキュリティの神様のような方かもしれないが、オンプレミスかクラウドかというお話は非常に重要なお話であり、その判断が割りりと軽々にされるのであれば、もう少し時間をかけてでも情報収集されて色々な専門家の話を聞くという方がよかったのではないかという思いである。</p> <p>少なくとも今ご説明いただいた形では、他の専門家たちは驚くのではないかと思う。</p>
<p>D委員</p>	<p>今回佐渡市はこの部分を更新することで、職員のリテラシーを向上させるという目的をお持ちと思う。</p> <p>そのためにはコスト面が最終的に課題とは思うので、その観点で選択するということは1つの判断かと私は思う。</p> <p>民間であればグループウェアは何でもよく、マルチで使用している。</p> <p>ファイル共有であれば「Box」を使用したり、スケジュール管理であれば「desknet's」を使用したり、色々なものを使用している。</p> <p>「何をを使うのか」という目的ではなく、それによって社員の働き方改革とのコラボレーションの仕方をどうするのかということが重要だと考えている。</p> <p>例えばテレワークにおいてコミュニケーションが不足するので「Slack」を導入してみたり、新潟県でも「logoチャット」を使用したりしているが、働き方改革の中でグループウェアがどのような役目をするのかという点については、恐らくリテラシーの向上ではないかと感じた。</p>
<p>座長</p>	<p>検討は大分進んでいると思うが、最終決定がまだであればしっかりと検討いただきたい。</p> <p>他に質疑等なければ次の議事へ移る。</p>
<p>長谷川主事 座長 長谷川主事</p>	<p>2) 令和5年度 of 取組 (施策) 内容について</p> <p>② 行政手続のオンライン化 (アジェンダP.21～22について説明)</p> <p>4月からオンライン化されている手続もあるのか。</p> <p>4月からオンライン化しているものは、子育て・介護に関する26手続と火災予防に関する手続である。</p> <p>それ以外の手続について、10月からおよそ600手続についてオンライン化の予定である。</p> <p>10月からいきなり600手続すべては対応できないが、今年度中にはオンライン化できるように進めていきたいと考えている。</p>
<p>椎室長 座長 椎室長</p>	<p>(市ホームページより「行政オンラインサービス」ページを表示し「ぴったりサービス」について補足説明)</p> <p>実際に、子育てや介護をされている方へは周知されているのか。</p> <p>市ホームページ内の当該手続のページにオンライン手続へのリンクが貼られている程度で、まだ利用も少ないようである。</p>
<p>D委員</p>	<p>他の市町村でも「ぴったりサービス」はあまり使用されていないと聞いている。</p>

長谷川主事	使いつらく、手続が探しづらいようである。 子ども若者課が所管している手続のうち「児童クラブの入会申請」については、申請者が子育て世代で若年層が多いということもあり、相当数の申請がオンラインでいただけたようである。
D委員	LINEの機能拡張はいつになるのか。
長谷川主事	LINEについても10月予定である。
D委員	新潟県もそうだが、LINEを入口とする方法は色々な自治体が導入している。きっとその方が申請もしやすいと思われるので早期に導入した方がよい。
長谷川主事	承知した。
座長	他にご意見等あるか。
中川主幹	特にLINEについては、今までは佐渡市から一方的に通知をする形式だったが、もう少し市民の方々との接点を強化するという事で、申請や通報のようなサービスも導入できればと考えている。
D委員	LINEについては、もともと市民の皆さまも接点として持っているものなので活用した方がよい。
座長	LINEの登録は現在何名くらいいるのか。
中川主幹	6,000人弱である。
D委員	5,900人である。先ほど登録させていただいた。
座長	その数字が上がってくると利用者も増えてくる。 これが進むと行政職員の負担は減るのか。
椎室長	当面は減らない。 書面による手続は今までどおり継続する中でオンラインの基盤を整備するため、作業としては二重になる部分はあると思う。
B委員	コンビニ交付が早く実現すればよいと思う。
副座長	佐渡市はコンビニ交付を実施しているのではないのか。
椎室長	実施していない。
B委員	郵便局の方が先ではないか。
椎室長	一部のへき地において郵便局が対応している。
副座長	コンビニ交付は進めないのか。 正直なところ、佐渡出身の人間で市外へ出ている人からすると、コンビニで住民票等が取得できることを当たり前と思っている。
椎室長	デジタル政策室としては進めるべきと思っているが、所管は市民課であり理事者もコンビニ交付を推しているとは聞いていない。 ただ、市民の皆さんにとって平日の8時30分～17時30分の間に市役所へ出向くのはハードルが高いとされていて、コンビニであれば23時まで手続できる訳なので、個人的にはそちらの方がよいのではと考えている。
副座長	若者世代や私たちより少し若い世代の人たちは共働きしないと生きていけないし、余裕がない。 「代わりに役場へ行って来て」とお願いできる家族と一緒に住んでいけばよいが、そうはいかない人もいます。
座長	コンビニ交付は対応すべきではないかと思う。 他に質疑等なければ次の議事へ移る。
椎室長	2) 令和5年度の取組（施策）内容について
副座長	③ 基幹システムの標準化へ向けた準備 （アジェンダP.23について説明） 私自身、まだガバメントクラウドについて概念しか理解していない状態であるが、グループウェアのようなものもある意味共通で使用できるようになり、コスト削減に

D委員	<p>もなり、セキュリティは一元管理されているという意味において、グループウェアをガバメントクラウドの中に構築するという選択肢はあったのか。</p> <p>今の時点では国が定めた20業務について標準化しガバメントクラウドへ移行することとしているので、グループウェアは入っていない。</p> <p>これは行政業務のシステムなので、APIもあるしデータフォーマットもすべて決まっている。</p> <p>その方式にさえ従えば、既存のグループウェアにせよ何にせよ連携することは可能と思うが、システムとしては別枠で動いているものと考えた方がよい。</p>
B委員	<p>基幹系の業務がすべて移行されるということか。</p> <p>情報系は蚊帳の外か。</p>
中川主幹	<p>そのとおりである。</p>
座長	<p>自治体標準の仕様というものが決められやすいからである。</p> <p>他に質疑等なければ次の議事へ移る。</p>
椎室長 座長	<p>2) 令和5年度の取組（施策）内容について</p> <p>④新庁舎窓口サクサク大作戦事業 STEP1 ～まずは異動で書かせない窓口～ （アジェンダP.24について説明）</p> <p>早期に実現いただきたい。</p> <p>質疑等なければ次の議事へ移る。</p>
椎室長 座長 副座長 椎室長	<p>2) 令和5年度の取組（施策）内容について</p> <p>⑤ セキュリティポリシーの改定 （アジェンダP.25について説明）</p> <p>副座長、いかがか。</p> <p>セキュリティポリシーについては早期に改定をお願いしたい。</p> <p>セキュリティポリシーについては書かれていることを守ろうとすると相当高いハードルになる。</p>
副座長	<p>しかしながらハードルを下げては意味がなく、「やるしかない」という思いである。</p> <p>セキュリティポリシーについてはこの1年間だけでも上場企業において改めており、ランサムウェアに対する危機感は凄まじいことになっている。</p> <p>どのようなセキュリティが必要かはシステムによって異なるが、セキュリティポリシーだけは早期に更新すべきである。</p>
座長 椎室長	<p>現行のセキュリティポリシーはいつ策定されたものなのか。</p> <p>令和4年度末に改定したものである。</p> <p>ただ、実際のところ職員はこのポリシーだけを見ても理解することは難しいと思われるため、ガイドブックの作成や手順書の作成について今年度に進めることとしている。</p>
座長	<p>他に質疑等なければ次の議事へ移る。</p>
椎室長 A委員 椎室長	<p>2) 令和5年度の取組（施策）内容について</p> <p>⑥ デジタルリーダーの取組 （アジェンダP.26～27について説明）</p> <p>8名だったところに新たに5名加わったということか。</p> <p>そのとおりである。</p> <p>募集期間が8月3日までとなっているのでもう少し応募があると見込んでいる。</p>
A委員 椎室長	<p>やはり若手が多いのか。</p> <p>20～30代が中心である。</p> <p>40代が1名いる。</p>

<p>A委員 椎室長</p>	<p>PCスキルにおけるショートカットの活用や、グループウェアのスケジュールの入力など、デジタル政策室のサポートや勉強会など、庁内へ向けた取組はされているのか。</p> <p>基本的にはリーダーが自らの所属部署内において課題解決に取り組み、最終的に全庁的な取組へと展開しようというものである。</p>
<p>中川主幹</p>	<p>PCスキルの向上については今年度も引き続き継続するとのことなので、その中で勉強会を実施することもあるかと思う。</p> <p>今年度については市長から正式に「デジタルリーダー」として任命していただくこととしており、影響力についても強くなるものと思っている。</p> <p>あまりデジタル政策室側から、「あれをしてください」「これをしてください」というよりも、各リーダーが自発的に責任感を持って取り組んでもらうということで全体に波及する形を目指しており、勉強会などについても自ら発信して実施いただけるとよいと考えている。</p>
<p>副座長 椎室長 副座長</p>	<p>そもそも佐渡市には業務日報というものはあるのか。</p> <p>私自身は記載した記憶はない。</p> <p>民間企業では日報というものが基本的には必要で、その日報をいちいち書いていると面倒なので、所謂グループウェアのスケジュールを入力すると、それが日報に代わるというような仕組みづくりに取り組んでいるのではないかと思う。</p> <p>日報があることによって、例えばその人の行動を評価するような仕組みづくりも含め、デジタルリーダーに民間企業の取組を含めて知ってもらうような機会を作っていくとよいのかなと感じた。</p>
<p>椎室長</p>	<p>せっかく佐渡にもICT関連の企業があるので、そういうところの働き方を見ても非常に有用であろうと感じている。</p> <p>恐らく民間企業を知らない方も多いと思う。</p> <p>私自身も昔営業職に就いていた頃、毎日の日報を書き、月々の基本目標や達成率を集計したりしていたことのことを思い出させていただいた。</p>
<p>副座長</p>	<p>実際に市長から言われたことで、昨年と一昨年の当社の決算説明会議に佐渡市の部長さんや一部課長さんが来られた。</p> <p>市長が伝えたかったことは、人件費というものの意識付けをすることであった。</p> <p>民間企業では当たり前だが、デジタルリーダーがまずはそういったことを知ってもらうと、庁内で何か変革する時にアイデアが出しやすいのかなと思う。</p>
<p>座長</p>	<p>公共的な窓口にいると、何度説明しても理解してもらえない方に、それでも何時間をかけてでも説明しなければならないなど、効率性だけでは解消できない業務も多くなるのかなと思う。</p> <p>民間企業のロジックをそのまま活用できるかは分からないが、行政の中でそれを参考にすることで業務がやり易くなるようなものがあれば積極的に取り入れるべきだし、そのためにどういうやり方があるのかを知るということは重要である。</p> <p>大学はまったく管理されないので、「そういうものなのか」という思いである。</p>
<p>A委員</p>	<p>今のお話を聞いて思うのが、デジタルリーダーがやる気をもって、自発的に、折れずに、自らの業務がありながら周りをもっとよくしたいというところを、認定制度や予算化によって支えていくということは非常に重要だと思うことと、先ほどもお話があったが、デジタルリーダーのリテラシーの高さが全体への波及のレベルがどこまで上がるかに関わるので、民間の体験をすることもよいし、例えば企業を呼んで勉強会をするだとか、リーダーを支えたり引き上げたりすることもすると、もう少し実現方法も手段を選べるようになるのではないかと。</p>
<p>B委員</p>	<p>私もその意見には賛成である。</p> <p>情報処理の技術者の国家資格がある。</p> <p>セキュリティ関係やネットワーク関係など難しい試験であるが、その資格を持っておくことである程度庁内においても中心的な役割を担えるようになるし、対外的にも</p>

座長	<p>、例えばコンサルタントが入ってきたときに対等に話ができるようになる。</p> <p>下手をするとコンサルタントに強く言われ、「よく分かりませんがお任せします」という形にならないような自衛手段というか、各部で本職もあって大変なこととは思いますが、そういうことも考えていただければと思う。</p> <p>プロフェッショナルを育てるという視点が公務員にはすごく少ないように思える。</p> <p>万遍なく色々な業務をこなせる人を育成することも理解するが、恐らく他の国へ行くと考え方は全然違って、資格を持っていたり特別なスキルを持っていたりする人をしっかりと活用して現場を回していこうという発想がある。</p> <p>公務員の働き方というか在り方そのものも変わっていかないと、そういう部分も活かされないのではないかと思う。</p>
中川主幹	<p>皆さまおっしゃるとおり、そういった人事制度のような部分にも提言させていただいて、建設関係ではそういった技術職の方がいらっしゃるので、情報関係でもそういった人材を育成していきたいと考えている。</p> <p>資格についてはこのあと説明させていただくが、今年度より取組を開始しようとしており、国家資格であるITパスポートについても15名の取得を目指しており、既に6名の受験希望者が名乗り出ており、何とか頑張っけて啓発しながら目標達成に向かっていきたい。</p> <p>また、基本情報技術者や応用技術者についても、現課の方々というよりは情報管理部門の職員を中心に取得を目指していきたい。</p> <p>委員がおっしゃられたとおり、IT企業の方やベンダーさんと対等に話ができ、見極めができるような人材を育成していきたいと思っており、研修体系も含めて作っているところである。</p> <p>委員がおっしゃるとおり資格だけではないと思っているので、民間企業との交流であったり、実践を通してハンズオン形式の研修であったり、OJTのような感じでそのプロジェクトに入って実際に体験してみたり、総合的に人材を育成していく必要があると思っているので、そのあたりを体系立てて取り組んでいきたいと思っている。</p>
D委員	<p>この取組を否定するものではないが、少し気になったのがデジタルリーダーに手を挙げた方は何かに興味があった訳である。</p> <p>8名いれば8名とも興味が異なるかもしれない。</p> <p>特に今の若い人たちはゲームが得意だったりゲームを作ったり、アニメが好きでアニメを公開していたりだとか、色々な興味があると思う。</p> <p>その興味が磨いてあげる必要があるのではないかと最近思っていて、もちろん国家資格の取得や研修もするが、カメラで撮った画像を点群で集めて3Dでプログラムさせたりすると、結構若い子たちが興味を持って来てくれる。</p> <p>将来、デジタルリーダーのような若い人たちに政策提案をしてもらいたい訳だが、今言ったような点群と3Dでゲームを作るような感覚で、メタバース空間上で動くようなものを遊び感覚で取り組んでおり、これが都市計画に応用できる訳である。</p> <p>要するに、彼らの持っている力を何に活用できるのかというのは我々が考えればよいだけの話だが、彼らの興味をしっかりと汲んであげないと、押し付けている訳ではないと思うが、目標ばかりがどんどん来るところに向かっていかせることは最近のやり方としてはそういう人たちにはマッチしないのかなというジレンマの中、どちらがよいのかと悩みながら進んでいる。</p> <p>参考にならないかもしれないが、最も人気があるのはゲームである。</p> <p>「アンリアルエンジン」を触らせておくと皆大喜びでゲームを作っている。</p> <p>そういう、「何かに活かせるであろう」というものを、また別なアイデアソンみたいなことをしてみたりしてはいかがか。</p>
中川主幹	<p>おっしゃるとおり、資格とは別建てでそういった興味を掻き立てるようなアイデアソンみたいなことができたらいと思う。</p>

D委員	新潟県の若手職員の方と合同で実施するなど。 「web3」もあるし、若い人たちは普段会っていなくてもいくらでもコミュニティを作ることができる。
座長	デジタル人材育成の部分で他に説明されようとしていたものはあるか。
中川主幹	他にはない。
C委員	ちなみに、資格を取得した方はデジタル政策室からの異動がなくなるといったことはあるのか。
中川主幹	ない。
C委員	資格を取得したうえでまったく関係のない部署へ異動になるということもあり得るのか。
中川主幹	あり得る。
C委員	そしてまた新たにデジタル政策室へ異動となった方が同じような境遇になる訳か。
中川主幹	そのとおりである。 そういったノウハウやスキルが定着せず、仕事に活かさないという問題が大きいのかなと思うので、職務として情報系の技術者を配置する必要があるのかなと思っている。
座長	農業系では20年くらい部署を動いていない職員もいるのではないかと。 佐渡市は割りと同じ人がずっと同じ部署にいるという例がある。 それがよいことか悪いことか分からないが。
中川主幹	よい面もあって、資格を取得した職員が現場へ行くと、各現場でデジタル化が進むのではないかなと思うので、両輪で考えてよいのかなと思っている。
座長	それでは2番目の議事については以上になると思う。 3番目のテーマに移りたいと思う。
椎室長	3) その他
副座長	① 懇談会の取組テーマについて (アジェンダP.29～31について説明) 人材育成事業について補足する。 人材育成事業について、誘致企業であるエヌ次元株式会社さんと高度な開発をできる人材育成事業と一緒に取り組んでいる。 これまでの人材育成事業は補助制度を活用して実施し、補助制度が終了すると事業も終了していた。 よって、人材育成事業を作ったらすべて動画講座にして「Udemy」などにアップロードし、そこから収益を得ながら次年度以降継続できる、あるいは改善していける、あるいは別のコンテンツを作れるという仕組みづくりに挑戦している。 作成した動画講座に関して、佐渡市民を限定に無料で公開させていただいていることと、今年度は別の内閣府の事業を活用して動画講座を作成し、完成したものは市内に配布し希望者に基本的には無料で提供していくことを目指している。
E委員	その講座を受けるとどのようなことができるようになるのか。
副座長	当社が担当している講座を受けるとWebサイトを作れるようになる。 エヌ次元さんの講座を受けると、「Flutter」という技術でアプリが作れるようになる。 ゲームも作れるし、所謂何かを便利にするようなアプリケーションを作れるようになる。
椎室長	これ以外にも、有限会社中川商会さんと株式会社YAZさんで、市内の中小企業の方を対象に「DX」をどのようにしたらスタートできるのかという講義を開催していただいた。 こうした民間事業者の取組を佐渡市の政策的な取組と位置付け、広報紙や市ホームページなどで周知等を行いながら取り組ませていただいているものである。

D委員	<p>大局的な形で、産官学で政策を実行するためにどのような人材が必要なのかということ一度議論してみてもよいのではないかと。</p> <p>例えば、「AIの人材」などは、今は普通に必要である。</p>
副座長	<p>大局を見て、どのような人材像をどのくらい増やしていくのかということについて、少なくとも高校生くらいからそういう分野に興味を持てるようなきっかけ作りができると思うので、人材像について産官学で1度話してみると面白いのではと感じた。</p> <p>今のところ、我々は自分たちのできることを教えるようなスタイルになっているが、本当は今の時代であれば、「『ChatGPT』を用いてどのようなことができるのか」ということや、逆にプロンプトの書き方やファインチューニングなど、ニーズに応じて教えることができる人をお呼びして講座を動画化し、そこから採算性を見ながら次年度以降改善していけるような仕組みを作ることにトライしたいと思っている。</p>
座長	<p>他にご意見等あるか。</p> <p>資料はロードマップの原型のようなものか。</p>
椎室長	<p>そのとおりである。</p>
座長	<p>医療・介護・福祉の部分では「ひまわりネット」の有効活用といったものがあるが、「ぴったりサービス」で手続をオンライン化させていくというような、内容としては市民活動・行政活動に関わるものもあると思う。</p> <p>例えば、「行政手続のオンライン化」の中に含まれている手続は、内容的には教育・文化に関わることであったり、医療・介護・福祉に関わることであったりするが、こちらのくくりでは見えてこない。</p>
D委員	<p>そういったものも見える化された方がよいのではないかと。</p>
座長	<p>進捗がどのように見える化されるのかということである。</p> <p>医療・介護・福祉の部分に、例えば、「『ぴったりサービス』を使った手続のオンライン化」という取組が書かれていてもよいのではないかと。</p>
D委員	<p>もっとも分かりやすいのはKPIを書くことである。</p>
座長	<p>例えばそういうサービスの利用者を増やしていくといった時に関わってくるのは医療・介護・福祉の部署の職員になるので、ここに載ってきてもよいのかなと思う。</p>
椎室長	<p>承知した。</p> <p>そのあたりの書き方も含めて作りこんでいきたい。</p> <p>横断的に取組を進めるために、取組項目ごとに整理をしたいという考え方もあるので、もう少し考え方を整理したい。</p>
座長	<p>他にご意見等あるか。</p>
椎室長	<p>このロードマップが案として挙がってくるのはいつ頃の見込みか。</p> <p>10月頃にはと考えている。</p> <p>各課をヒアリングしたが、「何をしたらよいのか分からない」という感じが多分にある印象である。</p>
座長	<p>デジタルでどういうことができるのかが分からないと、そもそもニーズも生まれにくいのではないかと。</p>
B委員	<p>各課で困っていることはないのか。</p> <p>異動してきて、「何でこんなに面倒くさいことをしているのか」というようなものはないのか。</p>
中川主幹	<p>そういうものは書ききれないほどある。</p> <p>どちらかと言うと目先のことが多いように感じていて、将来的にどうすべきかというところがぼんやりしている。</p> <p>それに対してデジタルでできることを、もう少し引き出してあげる必要があると思っています。「佐渡市総合計画」の基本目標ごとに紐づく計画を各課がお持ちなので、そういったところも1度拾い出して、やりたいことに対してデジタルでできることのディスカッションが必要なのかなと思っています。</p>

座長	<p>核となる取組があるとよい。</p> <p>例えば、岡山県西粟倉村へ行ったら「森林のデータベース」というものを中心に全部回しているような。</p> <p>佐渡市の場合、総合計画をベースとしているので総花的にはなる。</p> <p>どこに力を入れて、最も優先的に取り組むべきものがあるかと思う。</p>
椎室長	<p>佐渡市の場合、「生物多様性」「健康寿命日本一」というような切り口もあるのかもしれない。</p>
座長	<p>他にご意見等あるか。</p> <p>データ連携共通基盤というのは、色々な領域のデータというものをプールしていくようなデータスペースみたいなものをデータ化していくようなものと思うが、例えば、「佐渡では防災分野からスタートしましょう」となった時に、そこを中心に作っていった時に、データスペースが医療の分野に応用できることはあるのか。</p>
D委員	<p>色々なカテゴリーのデータスペースがあって、それを何か新しいイノベーション的なプログラムを作ったとして、そのプログラムを動かすために医療データと住民の所在データや異動データが必要となったら、そのイノベーションされたプロセスが必要なデータを引っ張ってくる。</p> <p>その時に、データを安全に取り扱っているのかといったセキュリティをデータスペース側とプロセス側でもちゃんと持つ。</p> <p>そのセキュリティがベースで初めてデータ連携基盤を活用した形で、もしくは課題を解決するようなプロセスで構築されるものである。</p>
座長	<p>承知した。</p> <p>他にご意見等なければもう1つの大事なテーマへ移る。</p>
座長	<p>3) その他</p>
椎室長	<p>② デジタル活用構想の市民への周知について</p> <p>このたび「デジタル活用構想」を策定したが、市民への周知活動が大きな悩みどころである。</p> <p>先日も十日町市議会の視察があり、「どのように周知を行うのか」と問われたところである。</p> <p>よく大きな計画を策定すると、旧10市町村を回って説明会を開催したりするが、どうしても興味のある10名程度しか集まらず周知が難しい。</p> <p>何か妙案がないかと思うが、1つ考えているのは「デジタルサミット」のような形で、市内のICT関連の民間企業の皆さんが持つデジタル技術を市民の皆さまが体感できるような場を作ってみるということである。</p> <p>そこで行政手続のオンライン化の模擬体験をしてもらったり、構想の説明をしたり、そのようなことができないだろうかと考えている。</p> <p>デジタル政策室は予算も人員も少ないこともあり、他課のイベントに相乗りできないかと相談してみたが、どのイベントもコロナ禍で中止している。</p> <p>来年度以降にそういったことができればと考えているが、どのようにして市民周知をするのかは大きな課題である。</p>
D委員	<p>興味を持っている方にはシンポジウム。</p> <p>市民が気軽にデジタルに触れていただくためには、何か見本市的なもの。</p> <p>子どもが遊べるようなおもちゃやドローンが置いてあってもよい。</p> <p>シンポジウムと見本市をセットで行うと面白いかもしれない。</p> <p>もう1つは、小中高各々に合せた形でこれを説明できるようなコンテンツを作るとよいのではないか。</p> <p>そして実際の授業でそれを説明しに行く。</p> <p>そのまま説明しても駄目である。</p>

副座長	<p>コンテンツは考えなければならないが、高校生くらいになると実際にドローンを使って薬を運ぶところを見せた方がよいかもしれない。</p> <p>何か子どもたちに啓蒙することは重要なことと思う。</p> <p>佐渡に誘致してきた企業が全40社くらいと、佐渡市内で頑張っている企業が30社くらいある。</p> <p>そもそも企業間同士もお互いを知らないので、産業振興課で声がけをして、市民の方にも声がけして、それぞれのデジタル技術を揮うような場を設けるとよいと思う。</p> <p>身も蓋もないデジタルに逆行する話であるが、結論から言うと周知徹底は「折込チラシ」である。</p> <p>先ほどの私たちの人材育成事業についても折込チラシである。</p> <p>他のありとあらゆる手法を用いてもどんな情報を発信しても折込チラシには敵わない。</p> <p>それくらい周知というものはなかなか伝わらなくて、意識の高い方たちはサドテレビさんあたりから情報を親族が拾ってきてくれたりするが、なかなか難しい。</p> <p>議員の方がよく「こういう活動をしました」というものを作っているが、結局、いちばん読んでもらえるからである。</p> <p>そこに直接「こういうことをしている」と書くのではなく、「こういう取組で、こういう体験ができます」という、何かコンテンツを用意しておいてそこへ誘導し、そのコンテンツがずっと使えるようにしたうえで、とにかく目に触れてもらえる機会が増えるように、最初のタッチポイントはデジタルに逆行するようだが折込チラシである。</p>
椎室長 座長	<p>「市報さど」の8月号には概要を見開きで掲載予定である。</p> <p>先ほどD委員より「高校生」というお話があったが、本当は中学生に分かると大人にも理解できるようなものになっていくとあっていて、それは作った方がよいのではないかと思う。</p> <p>例えば、チラシを作るにしても、今の構想のスライドの何枚かを掲載しただけでは読んでもらえないと思うし、きちんと読んでくれるものを簡易版として構想のリーフレットのようなものがあるとよいと思う。</p>
副座長 D委員	<p>詳細についてはQRコードでリンク先に飛んでもらうなどしてもらえばよいと思う。</p> <p>「活用構想」という4文字を教えたいのではなく、「デジタル社会になっていくと、我々は明るい未来を暮らしていける」ということを少しでも体験して、皆の意識をそちらへ向けて欲しい訳なので、そういう意味では、若い子たちの方がLINEは使うし、スマートフォンも使うし、我々以上にデジタルが活用されているのが実態である。</p> <p>ただし、高齢化や脱炭素といった社会的な課題がたくさんあるので、そういうところにデジタル技術を使いたいという気持ちがある我々にはあるので、そこをうまく説明できるように子どもたちにはしてあげる必要がある。</p>
A委員	<p>難しい課題である。</p> <p>この構想を丸ごと全部知りたい人はいないと思っていて、1つ思ったのが「お仕事体験」のような、お仕事が色々あるとそれぞれにデジタル技術の活用があると思っていて、例えば市役所なら「電子手続」だったり、農作業ならドローンを飛ばしたり、ベンチャーさんなら「webページの制作はこうやるんだよ」というようなものだったり、お仕事体験の中にデジタル技術をはめ込みながら、その裏で「佐渡市はデジタル活用構想でこのようなデジタル技術を支援しています」というような見せ方であれば、裏方に見えるかもしれないが、佐渡はデジタル技術を活用した色々な企業が動いているという見せ方の方が、見る側には伝わり易いのではないかと思う。</p> <p>興味のある市民も、子育て世代であれば「アプリで便利になるから興味がある」というかもしれないし、子どもなら色々な産業や新しいお仕事に興味があるかもしれないし。</p> <p>まとめてしまうとぼやけてしまうので、1つ1つ地道に進めていく方がよい。</p>

<p>椎室長</p>	<p>あとは、折込チラシなのか口コミなのか、SNSだったりテレビだったり、手段は何をするかによって変えていくというやり方がよいと思った。</p> <p>構想については「ものすごく分かりやすい版」のようなものは用意しなければならないと思っている。</p> <p>A委員もおっしゃったが、「あれもこれも」ではなく、何か1つ市民の方が受けられる恩恵のようなものを切り口にはできるのかなと思っている。</p>
<p>B委員</p>	<p>夢かもしれないが、将来的な具体例のようなものがある程度ぶら下がらないと食いつきようがない。</p>
<p>椎室長 座長</p>	<p>おっしゃるとおり、言葉ではなく体感できるものがないと難しいと思う。</p> <p>例えば今度、「生物の多様性を育む農業国際会議（ICEBA）」を佐渡で開催する。</p> <p>農家さんがたくさん参加する予定となっているが、そういうところに「デジタル技術を活用した農業の未来」のようなメニューが1つ入っていると触れる機会も増えてくるので、既存のフォーラムやイベントにデジタル要素を盛り込んでいくようなところからスタートしてもよいかもしれない。</p>
<p>F委員</p>	<p>私はまったく皆さんが言っているようなことに届かないが、そういうフォーラムや勉強会があっても行きたくても行けない。</p> <p>朝も5時半～6時に起きて、帰宅するのも20時頃であり、その間、食事を作り子どもたちの送迎もして、家族との会話もなかなかできないが仕事もしなくてはならない。</p> <p>そういうジレンマの中で私がいつも思っているのは、佐渡市が何をしているのか全然見えないことである。</p> <p>色々なイベントなどを実施していても、こちら側から探しに行かないと何も分からない。</p> <p>スマートフォンは必ず見るので、そういう情報を発信していただくとか、どのようなイベントなのか内容を発信していただくとか、そうでないと何があったのかも、どのような内容だったのかも分からない。</p> <p>例えば、コロナ禍が明けてこれから何年も継続していくようなイベントなら、「来年は休みを取って行ってみよう」とか、「こういうことがあるなら行ってみたい」と思えるが、どこから情報を得たらよいのか分からないことがたくさんある。</p> <p>佐渡市側からスマートフォンに向けて発信していただくと非常にありがたい。</p> <p>文字でなくてもよいので映像でいつでも見られるものでもよい。</p> <p>今は子育てと介護と医療の分野の情報さえ配信してもらえればよく、両親の介護をしているが、制度の窓口が分からなかったりするので、「こうすればよい」という情報を佐渡市側から発信していただきたい。</p> <p>先のことを言われても今が必死なので、今抱えている課題を今解決してくれるような窓口があるとよい。</p> <p>色々な制度は2～3年でコロコロ変わってしまうので、「ここに行けばすべてが解決する」というような場所、もしくはスマートフォンに解決できるような手段を送っていただくととても助かる。</p> <p>お米も作っているが、お米がまったくお金にならない。</p> <p>市役所や支所・行政サービスセンターの敷居を低くしていただければ、そういう場を借りて市のようなものを開催していただいたり、先ほど言っておられたようなイベントを開催していただくと市役所へ行く人たちももっと増えるのかなと思ったりもする。</p> <p>まったくデジタルとは関係ないが、佐渡の良さもあるので、すべてデジタルではなく、古い家をリノベーションすると住みやすくなるくらいなので、もっと豊かな自然を武器に、もっと若い子たちが佐渡へ帰ってくるようなデジタル活用をしていただきたい。</p> <p>子どもたちには佐渡へ帰って来てほしいが、「お金はないし、魅力もない」と言って</p>

	<p>帰って来てくれない。</p> <p>私は佐渡には魅力があると思っているが、子どもにはまだ理解できないようなので、もっともっと佐渡の良さを周知していただけるイベントのようなものがあればよいという思いもある。</p>
D委員	<p>母親が忙しいから、子どもたちが「学校でこういうことを言っていたよ」というような話を聞くのはよいと思う。</p>
F委員	<p>そのとおりである。</p>
座長	<p>それが会話にもなって、もしその情報が映像としてあれば「どれどれ」「こんなのがあるのか。今度行ってみよう」となって双方が共有できるので、子どもも必ずスマートフォンを持っているので、私もあとからでも見ることができるとありがたい。</p> <p>何が開催されているのかが分かりづらいというか、自分で情報を取りにいかねばならないということは私も同様に感じていたが、「市公式LINE」が非常によい。</p> <p>自分の関心のない分野の情報も含めて。</p>
F委員	<p>自分で分野を選択できるようになるとよい。</p>
座長	<p>そのようになるのではないか。</p>
中川主幹	<p>そのようにしていく。</p>
座長	<p>公式LINEを是非。</p>
F委員	<p>佐渡市だけでなく市内のお店も情報配信していただけると、今は色々なお店がたくさんあるが、どのようなメニューがあるのかもこちらから探しにいかねばならないし、マップも掲載してもらえれば他所から来た人にも分かりやすい。</p> <p>「これを見れば大丈夫」というものがほしい。</p> <p>私自身はgooglemapが最も使い易い。</p>
G委員	<p>先ほど映像というお話があったが、佐渡市の公式Youtubeが最近ショート動画をアップロードしているが、配信元は消防本部でありこれが結構面白い。</p>
B委員	<p>今年からInstagramをメインにアップロードしているようである。</p>
G委員	<p>若い職員が、「今は〇〇月間です」というようなPRをしているが、手作り感があってよい。</p>
F委員	<p>そういうものがあると興味を持つことができてよい。</p>
G委員	<p>ショート動画なので再生回数も非常に多くなっている。</p> <p>頑張っているので応援したくなるし、ショート動画であれば手軽に作ることもできてよいのではないか。</p>
F委員	<p>それこそ、先日のイベントでも佐渡出身の男の子が佐渡の生産者の方とコラボレーションしてお店を開いていたが、やはり色々な可能性があるというか、子どもたち世代なので私は付いていけないが勉強になる。</p>
副座長	<p>若い人たちには希望を持ってもらいたいと思う。</p> <p>消防本部が頑張ってくれているということであるが、教育委員会にも頑張っていたきたいと思う。</p> <p>先ほどD委員がおっしゃったようなことが大事だと思っている。</p> <p>一方で、これは事例であるが、人材育成事業を展開しようとした時、第1回目は人もたくさん集まったが社会人が多かった。</p> <p>学生に参加して欲しいということで、第2回目は配布する紙も印刷して各学校にお願いに上がったが、回答は「No」であった。</p> <p>最終的にご協力はいただけたが、職員室の前にある掲示板に紙を1枚貼っただけであり、結果的に学校からは誰も来ていただけなかった。</p> <p>それで、新聞折り込みを撒くということになった。</p> <p>佐渡市にもお願いに上がったが、やはり組織が違うということもあって教育委員会には言えないようである。</p>
B委員	<p>協力いただけただけでもよかったのではないか。</p>

副座長	<p>教育委員会は校長先生や教育委員会を通さなければならない壁があって、企業色が見えると却下されるケースが多いようである。</p> <p>実際に、担当者の面談、校長先生や教頭先生の面談を行ってご協力をいただけることになった。</p>
座長	<p>高校は情報課程ができてきているからそういうところとタイアップすればよいが、例えばそのチラシを大学で配布しようとしてもNGである。</p> <p>公的な意味づけを全面に出さないとなかなか難しいようである。</p> <p>時間も若干過ぎてしまったが、周知の方法については色々な可能性はあるようなので、少しずつというところではないか。</p>
椎室長 副座長	<p>多数のご意見をいただき感謝申し上げます。</p> <p>「佐渡市の公式LINEに登録してください」という折込チラシだけでも相当の効果があるのではないか。</p>
座長 B委員 中川主幹 座長	<p>LINEがリッチメニュー化される時期にあわせて行ってもよいのではないか。</p> <p>「市報さど」でも、単発でなく何度も周知した方がよいのではないか。</p> <p>ケーブルテレビを用いた周知もよいと思う。</p> <p>最後の議事に移る。</p>
副座長	<p>3) その他</p> <p>③ 次回日程について (アジェンダP.30より、10月第2～3週頃に開催することとする)</p> <p>4 副座長あいさつ</p> <p>個人的には、想定より多くの取組が想定より早く動いており、佐渡市はデジタル政策室を中心にかなり頑張っていると感じている。</p> <p>昔の佐渡市より遥かに早くなったと感じており、早いことはよいことだと思っている。</p> <p>佐渡市にはアドバイザー制度というものがあるが、本来はそこに情報担当としてD委員のような方がいらっやあって、その方が即断即決しどんどんアドバイスを客観的に言えるという体制が望ましいと思うが、確認したところ情報担当というアドバイザーは不在とのことである。</p> <p>そうすると、すぐに相談できる体制がない中では、まさに我々懇談会が、先ほどのF委員のご意見にもあったが、市民目線の意見の吸い上げだとか、多少専門的な意見の吸い上げの場ということで身の引き締まる思いである。</p> <p>委員の皆さまには、それぞれの経験と知見をいただきながら、また1年間お付き合いいただき、よい「デジタル活用計画」を策定できればと思うので、よろしくお願ひしたいと思う。</p> <p>5 閉会</p>